

「新日本石油グループ CSRレポート2007」の発行について ～地球環境との調和を図り、エネルギーの将来を担う～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、この度、2006年4月から2007年3月までの当社グループのCSR(企業の社会的責任)活動への取り組みをまとめた「新日本石油グループ CSRレポート2007」を発行いたしましたのでお知らせいたします。

本レポートは、「企業の責任」、「環境への取り組み」、「社会貢献」、「人間尊重」について、基本的な考え方や取り組み実績、今後の課題などをコンパクトにまとめております。

なお、本レポートは、当社のCSR専門ウェブサイト「ENEOS Social Station(<http://www.noel-jx-group.co.jp/csr/>)」との連携をさらに強化しており、ウェブサイトでは、より詳しく、タイムリーなCSR活動の内容を発信し、毎月10,000人以上の方にご覧いただいております。

記

「新日本石油グループ CSRレポート2007」の主な特徴

1. レポートの特徴

- (1)表紙にイチロー選手のテレビCMと同じデザインを採用し、当社のCSR活動に統一感をもたせた。
- (2)トップコミットメントを当社社長・西尾進路とフリーアナウンサー・久保純子氏との対談形式で実施。
- (3)特集ページ1～3の新設。

特集1: クリーン開発メカニズム(CDM)

特集2: 水素社会を目指した挑戦

特集3: サービスステーションを拠点とする震災対応

- (4)「企業の責任」、「環境への取り組み」、「社会貢献」、「人間尊重」の4つのカテゴリーに分け、それぞれの基本的な考え方や取り組み実績、今後の課題などをコンパクトにまとめて掲載。
- (5)「第三者意見」のコーナーも対談形式で実施。

2. 2006年度の主な環境への取り組み

- (1)新日本石油グループの事業活動におけるCO2排出量

●2006年度1,528万トン、前年比9万トン(0.6%)削減。

- (2)お客様の消費段階におけるCO2排出量

●2006年度12,030万トン、前年比1,337万トン(11.1%)削減。

(環境ハイオク「ENEOS NEW ヴィーゴ」などのサルファーフリー自動車燃料の販売促進により、燃費の向上を通じて温暖化ガス排出量削減に貢献)

- (3)精製段階におけるエネルギー消費原単位

●2006年度17.3%削減。(1990年度比)

●2010年度には1990年度比20%削減目標。(平均1%/年削減)

- (4)廃棄物の削減対策として新日本石油グループでのゼロエミッション*達成

●2006年度 最終処分率0.9%達成。

●2010年度より0.5%未満達成目標。

* 廃棄物の発生量に対する最終処分量の比率が1%未満

3. 2006年度の新たな取り組み

- (1)公益信託ENEOS水素基金の助成先の公募

●第1回募集、合計74件の応募。運営委員会において、6件の研究を助成対象として採択。

- (2)川崎市と災害発生時における協定を締結

●災害が発生した際に「ENEOSとどろきランド」の施設を一時避難場所として被災者に開放するとともに、緊急支援用大型テント「バルーンシェルター」を無償で提供。

- (3)オフィスゴミもゼロエミッション開始

●3か月の試行期間を経て、2007年4月より本社オフィス内におけるゴミの分別細分化。(分別は12分類)

以上



トップコミットメント

西尾 悠悟
社長

久保 純子
副社長

【社長メッセージ】
当社は、社会の発展に貢献し、持続可能な社会の実現を目指して活動しています。環境、社会、経済の3つの側面から、持続可能な社会の実現を目指して活動しています。

【副社長メッセージ】
当社は、社会の発展に貢献し、持続可能な社会の実現を目指して活動しています。環境、社会、経済の3つの側面から、持続可能な社会の実現を目指して活動しています。

震災時も使命を ENEOSサービ スで支えよう

震災発生時の対応について

ENEOSサービスマンが被災地へ駆けつけ、被災者の安全確認や仮設トイレの設置など、被災者の生活を支える活動を行っています。

環境にやさしい 新エネルギー 水素社会を目指した研

水素社会の実現に向けた取り組み

当社は、環境にやさしい新エネルギーとして水素の開発に取り組んでいます。水素社会の実現に向けた取り組みとして、水素の製造・貯蔵・輸送の技術開発を進めています。

地球環境を守るための 大きな一歩

CO2削減に向けた取り組み

当社は、地球環境を守るための大きな一歩として、CO2削減に取り組んでいます。CO2削減に向けた取り組みとして、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用を進めています。